

コロナウィルス、 学校一斉休校、 予算委員会で総理に質疑

3月2日、参議院予算委員会が新年度（令和2年度）予算案の基本的審議が始まり、立憲・国民・新緑風会・社民から福山哲郎、斎藤嘉隆、蓮舫各議員らが質問に立ちました。斎藤議員は、前週の木曜日の夕方に突如発表され、当日より始まった全国一斉臨時休校を中心に質問しました。

全国一斉臨時休校の要請問題については、一定の措置の必要性を認めた上で、決定プロセスや、3月2日から春休みいっぱいとした期間の問題があり、その結果現場に混乱が生じていると指摘しました。所管の萩生田文科大臣がこの内容を知ったのはいつかと尋ねると、萩生田大臣は発表当日の午前中であつたことを明らかにしました。

斎藤議員は、すべての小中高・特別支援学校への全国一斉休校を要請する一方で、幼稚園や保育所、学童保育を対象から外したことを疑問視。学童保育は学校の教室よりも過密な状況もあるとして、クラスター（集団感染）発生を防止するために休校とする方針と齟齬があるのではないかと、クラスター感染するリスクが高くなる恐れはないかと質しました。これに対して加藤厚労大臣は、「施設ごとの事情があり、どちらが高いと直ちに申し上げる状況にない」と答弁。無責任な姿勢に傍聴席からも驚きの声が上がりました。総理にこの決定について理由を質すも、十分な理由の説明もなく、また専門家の意見も聞かずに決めたことがわかりました。



臨時休校の一律要請をめぐる安倍首相らの答弁

質問1 一斉休業、政府の専門家会議のメンバーは科学的根拠が明確でないコメント

質問2 一斉休校についてなぜ3月2日から春休みまでの期間に定めて要請したのか。根拠は

質問3 保育所は感染リスクが学校より低いのか
どちらが高いとか低いと申し上げる状況にない

自らの責任を強調
臨時休業の要請は直接専門家の意見をうかがったものではない。私の責任において判断

根拠は示せず
学校での集団感染は防がなければならない状況。判断に時間をかけるいとまがない中で判断した

根拠は示せず
どちらが高いとか低いと申し上げる状況にない

安倍晋三首相
加藤勝信厚労相

立憲・福山哲郎氏
立憲・斎藤嘉隆氏
立憲・蓮舫氏

<3月3日付朝日新聞より引用>



新型コロナウイルス対応

立憲民主党では、新型コロナウイルス肺炎対策本部を早々に立ち上げ、情報収集、政策の提言を行っています。斎藤議員は、この他に経済産業部門会議や文部科学部会においても、学校等における新型コロナウイルス感染対策、中小企業やサプライチェーンへの対策について、ヒアリングを行っています。

また、早い段階から、帰国子女や在外日本人学校や、児童に感染者がでた場合の対応などを文部科学省と打ち合わせしてきました。事態の終息を願いつつ、必要な措置を先手先手と打っていきよう、現場の声を行政機関に届けています。



☆新型コロナウイルスに関して、会社や学校のことでお困りごとがありましたら、斎藤嘉隆事務所（TEL：052-439-0550）まで、ご相談ください。

資源エネルギー調査会で参考人質疑



斎藤議員は、資源エネルギーに関する調査会で、「エネルギーの安定供給（中東情勢など、エネルギーを巡る国際動向）」というテーマで専門家の方に出席いただき、意見を伺いました。

参考人には、一般財団法人国際開発センター研究顧問畑中美樹さん、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授一般財団法人日本エネルギー経済研究所理事 田中浩一郎さん、金曜懇話会代表世話人 岩瀬昇さんの3人方にお越しいただきました。

日本ユネスコ国内委員会



昨年任命された日本ユネスコ国内委員の委員会が開催され、斎藤議員が出席しました。

ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）は国連の専門機関ですが、我が国におけるユネスコ活動に対する助言や調査審議、基本方針の策定にあたるのが、日本ユネスコ委員会の役割です。

教育・科学など各界の代表者六十名で構成されており、国会議員からは衆参合わせて7名が委員となります。

Vol.28

サイスポ

2020年3月号

斎藤嘉隆特集号

参議院バリアフリー化へ 議院運営委員会で視察

斎藤議員が筆頭理事を務める、参議院議院運営委員会、参議院の本館のバリアフリーの環境について視察を行いました。実際に車いすに乗り、本会議場や本館への出入りを行い、実地でしかわからない知見を得ることができました。すべての人に開かれた国会となるように、これから年にかけて国会一部を改修しバリアフリー化を目指します。



「未来の教室」 学校現場を視察

斎藤議員は、2月に千代田区立麹町中学校を訪問しました。

工藤勇一校長をはじめ、現場の先生方と教育課題などについて議論しました。

その後、経済産業省の「未来の教室」実証事業による数学の授業を参観しました。定期テスト廃止、全員担任制など同校の教育方針について学習を深めました。



1年の始まりは旗開きから



総会で日頃のお礼です



連合愛知シルバー倶楽部
東会長からの要望書



確定申告会場へ ご苦労様です



お話を伺います



今年も全力疾走!



組合の大会へ伺います



バス旅行のお見送り



学習会を前に一言ご挨拶



税理士後援会の役員の皆さんと



組合役員の皆さんに国政報告です



ともにたたかった仲間とのひと時



県連を代表してご挨拶

斎藤嘉隆 プロフィール

- 1963年（昭和38年）2月生まれ
みずがめ座 A型
- 名古屋市立万場小学校・はとり中学校
菊里高校卒業
- 愛知教育大学卒業
- 名古屋市立村雲小・稲永小・新明小に勤務
- 名古屋市教育委員会指導主事
- 愛知県教員組合執行委員長
- 連合愛知副会長
- 2010年参議院選挙愛知県選挙区で初当選

- 2016年（平成29年）575,119票をいただき
二期目の当選
- 参議院環境委員長、参議院経済産業委員長、
参議院文教科学委員会筆頭理事、党政調
副会長、党税調事務局次長、男女共同参画
推進本部事務局次長、県連選対委員長、スポ
ーツ議連事務局次長などを歴任
- 現在の役職
議院運営委員会 筆頭理事・経済産業委員会 委員
資源エネルギーに関する調査会 理事
党国会対策委員長代理



☆ 斎藤嘉隆事務所のご案内 ☆

〒454-0976 名古屋市市中川区服部3-507
TEL: 052-439-0550 FAX: 052-439-0560